

[課程一 2]

審査の結果の要旨

氏名 白川 理香

本論文はヒトマイボーム腺の形態を非侵襲的マイボグラフィを用い詳細に観察し組織学的検討も加え、ヒトマイボーム腺の機能および構造について理解を深めたものであり、下記の結果を得ている。

1. 覚醒下の小児のマイボーム腺をモバイルペン型マイボグラフィで観察し、生後一ヶ月の乳児でもマイボーム腺が形態的に完全であることを明らかにした。
2. 全身麻酔下の小児のマイボーム腺を観察し、マイボーム腺本数、開口部数が成人のそれと比較して有意差がなく、マイボーム腺の本数や瞼板に対する分布範囲は出生後増加しないことを明らかにした。
3. マイボーム腺開口部二重配列が上眼瞼のみに小児、成人、高齢者ともに約30%の頻度で認められ、先天性で正常な機能を有する開口部所見のバリエーションと考えられることと、その構造が眼瞼縁にジグザグに並んだ開口部が一對一に中心導管につながっていることを明らかにした。
4. マイボーム腺開口部二重配列の発生機序について、今回観察した所見と他臓器の発生に関する文献的検討から、胎生期に瞼板厚の厚い個体において上皮の陥入点がジグザグに二列に並ぶことで形成される可能性が示唆された。

以上、本論文は今まで詳細な観察が不可能であった小児の生体内のマイボーム腺を非侵襲的マイボグラフィを用いて観察し新知見を得た。また、マイボーム腺開口部二重配列について今まで不明であった機能や構造を明らかにし、ヒトマイボーム腺の基礎的理解およびドライアイ疾患の病態解明に重要な貢献をなすと考えられ、学位の授与に値するものと考えられる。